

## 北ア前衛 有明山

11/9 晴れ L倉澤 荻野 村上 矢島

その昔修験者が開いた修行の山で、長い急登が続くというイメージに敬遠していた有明山だが、いつかはという思いもあり今回の計画となる。

5月に登った雨引山の登山口を過ぎ、馬羅尾<sup>ばろお</sup>コースを辿る。芦間川沿いに登り始め、明瞭な赤テープに助けられて5回ほど渡渉を繰り返す。

不動滝を過ぎ、尾根への取付きからは笹のやぶ道で、滑りやすい濡れた落ち葉にも気を使う。ほかのコースとも合流する「落合」で一息入れ、ここからいよいよ高度差400m、2時間弱のやせ尾根の急登となり、はしごやロープがいくつも現れる。標高2100mあたりからはうっすら雪も残っていた。登山口からここまで見晴らしも殆どなくただひたすら登るだけでそろそろ飽きてきた頃、金属製の鳥居の立つ北端のピークに着く。山頂からは安曇野の平らは見渡せるが、背後の北アルプスの山並みは木の陰で殆ど何も見えなくて残念。

休止後、長い下りを慎重に下り、河原歩きでは少々疲れが出てきて時間を喰う。朝のスタートが遅かったこともあり、日没に間に合わずに冷や汗ものだったが、川の渡渉は何とか明るいうちに済み、林道はヘッドラ頼りとなった。

入会したばかりの新人さんには怖い思いをさせてしまい、反省点の多い山行になったが、改めて余裕をもった計画の重要性を再認識させられた。めったにない体験をしたがこれも山での経験のひとつ、何はともあれ全員無事でなによりでした。

### 【コースタイム】

運動公園集合 6:00----登山口 P 7:25----尾根取付点 9:30----落合 10:50----北岳ピーク 12:35 山頂発 13:15----落合 14:35----取付点 15:40----P 17:50 着